

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目 次

<グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

<今月のトピック>

- ・外食・中食の市場規模



1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

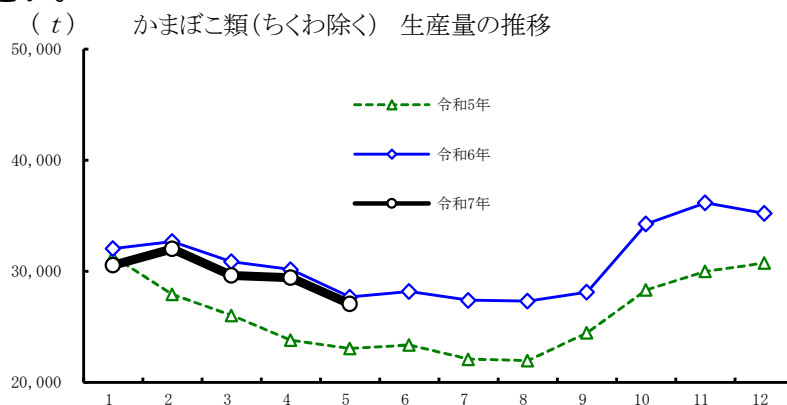
なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

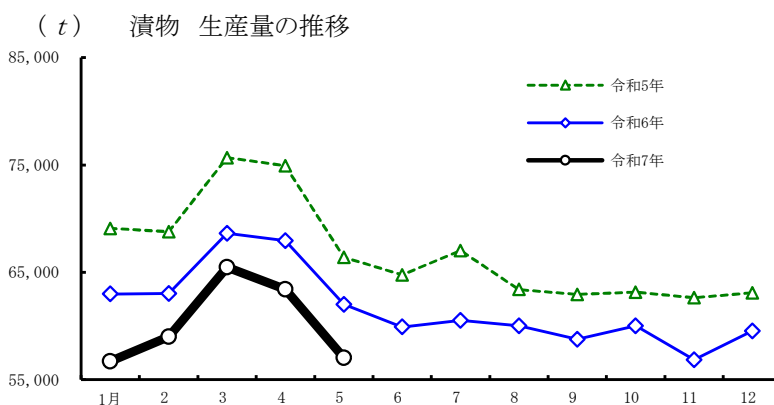
5月 2.2% 減少



○ 漬物

生産量 対前年同月比

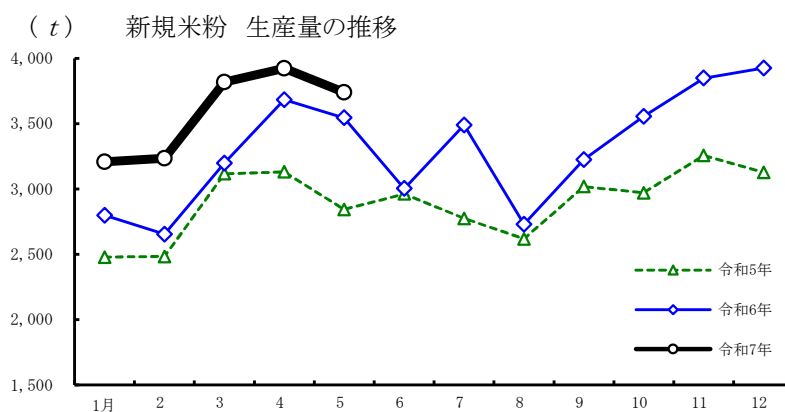
5月 8.0% 減少



○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

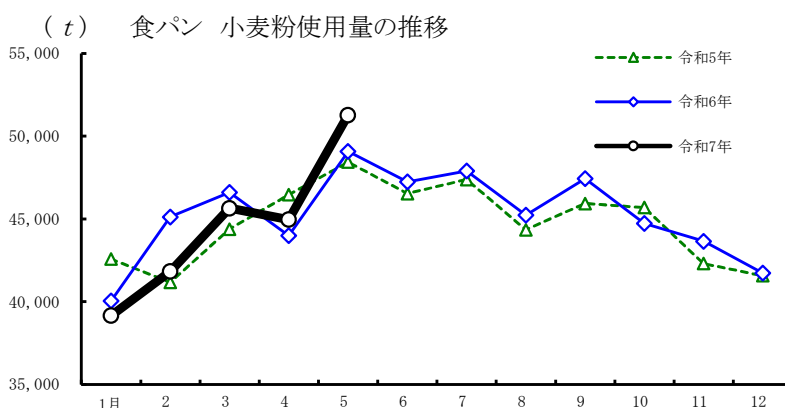
5月 5.5% 増加



○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

5月 4.5% 増加



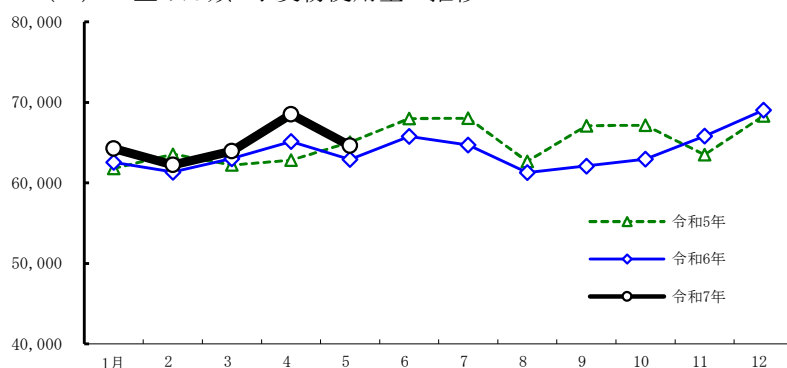
1. 加工食品の生産動向

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

5月 2.7% 増加

(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移

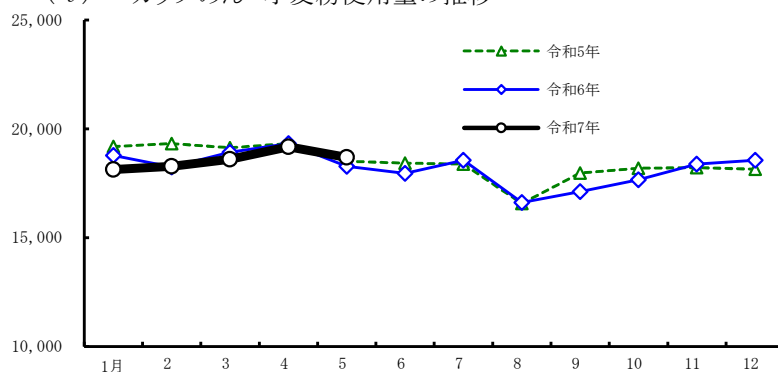


○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

5月 2.2% 増加

(t) カップめん 小麦粉使用量の推移

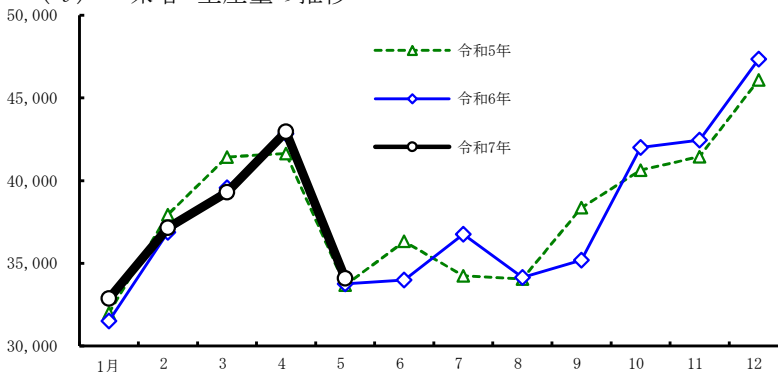


○ 味噌

生産量 対前年同月比

5月 1.0% 増加

(t) 味噌 生産量の推移

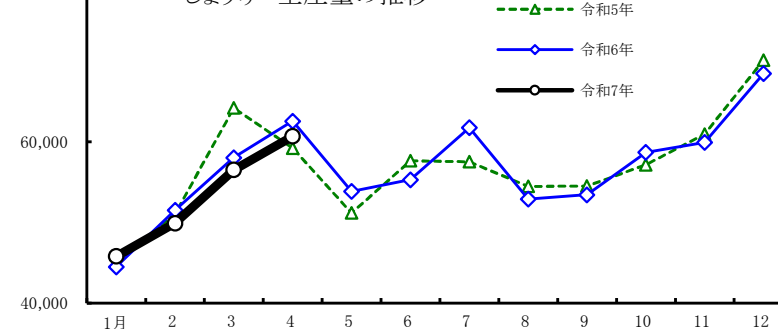


○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

4月 3.0% 減少

(kl) しょうゆ 生産量の推移

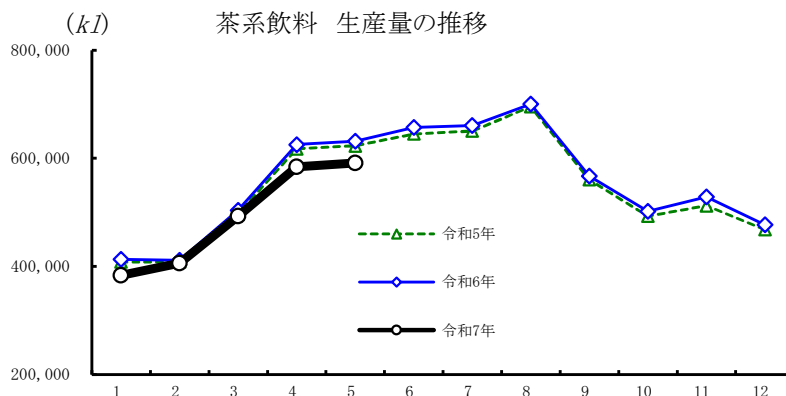


1. 加工食品の生産動向

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

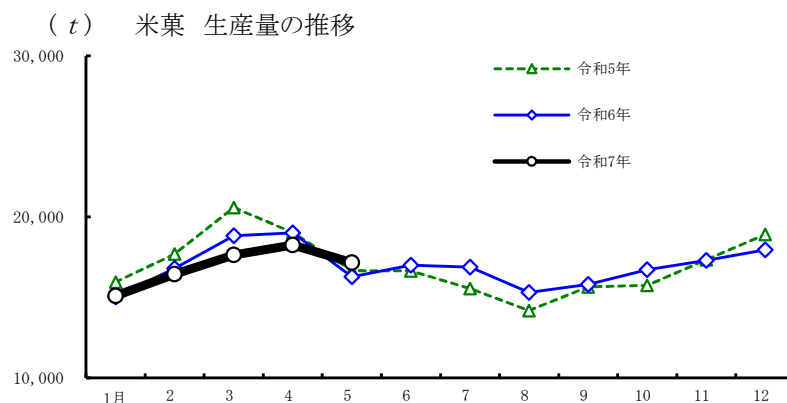
5月 6.4% 減少



○ 米菓

生産量 対前年同月比

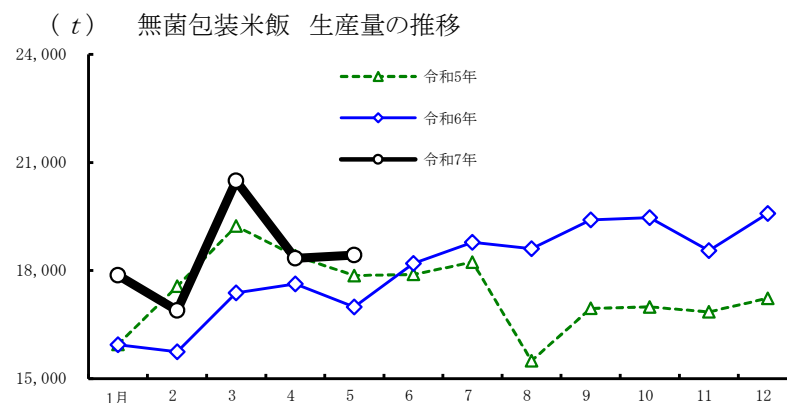
5月 5.5% 増加



○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

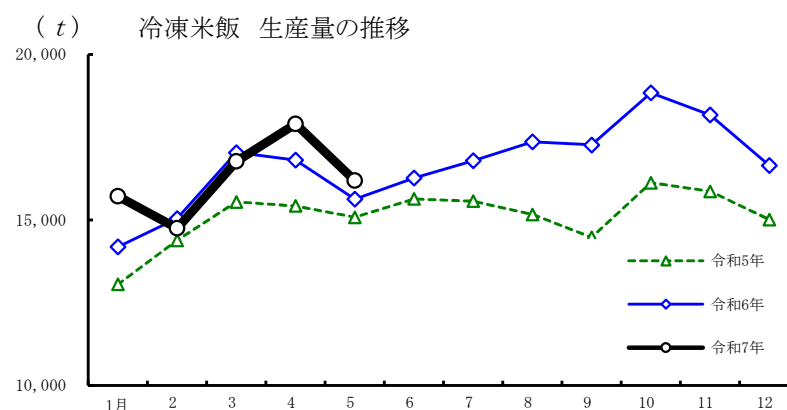
5月 8.5% 増加



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

5月 3.6% 増加



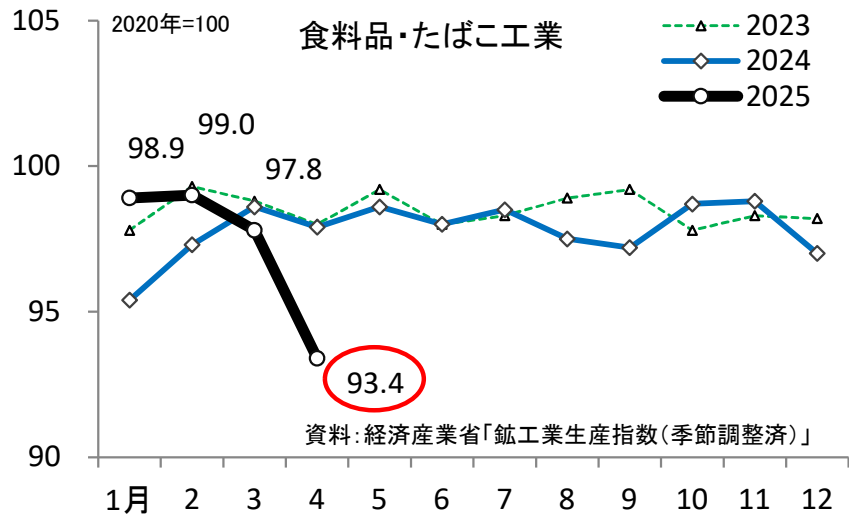
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

4月 4.6% 低下

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



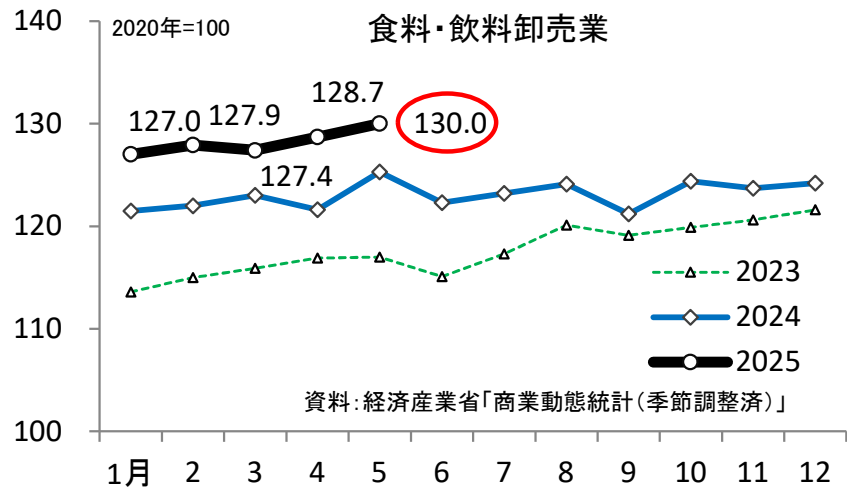
2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

5月 3.8% 増加

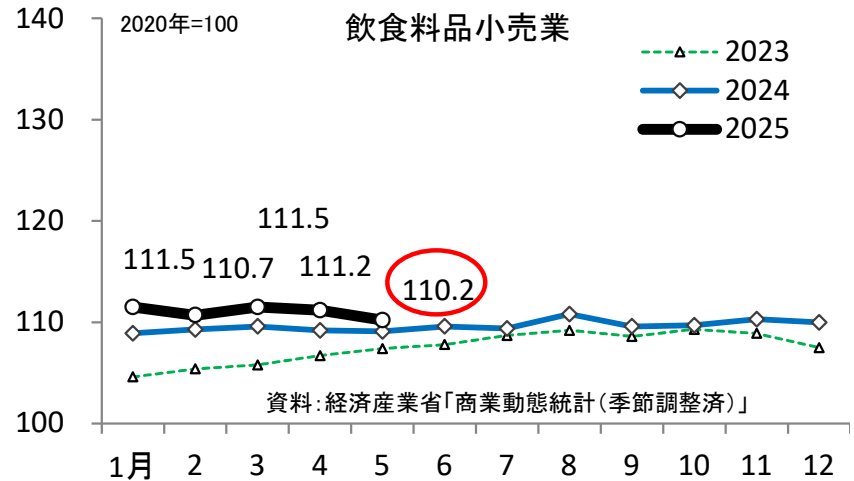
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

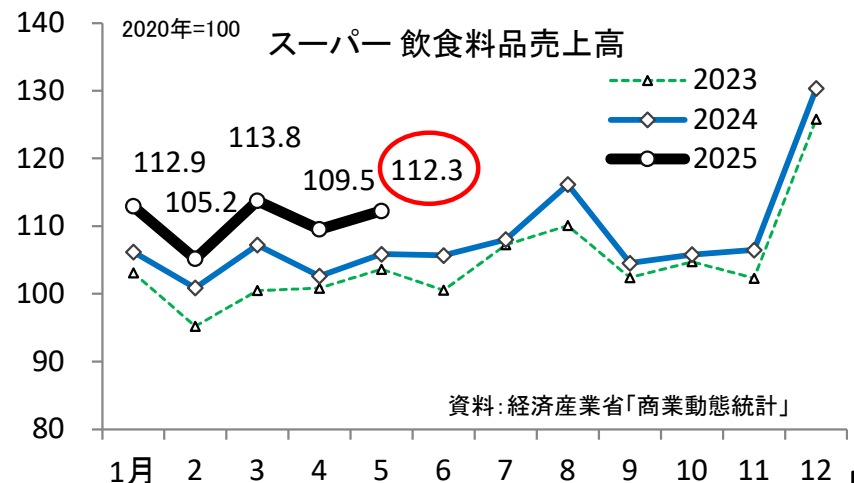
5月 1.0% 増加



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

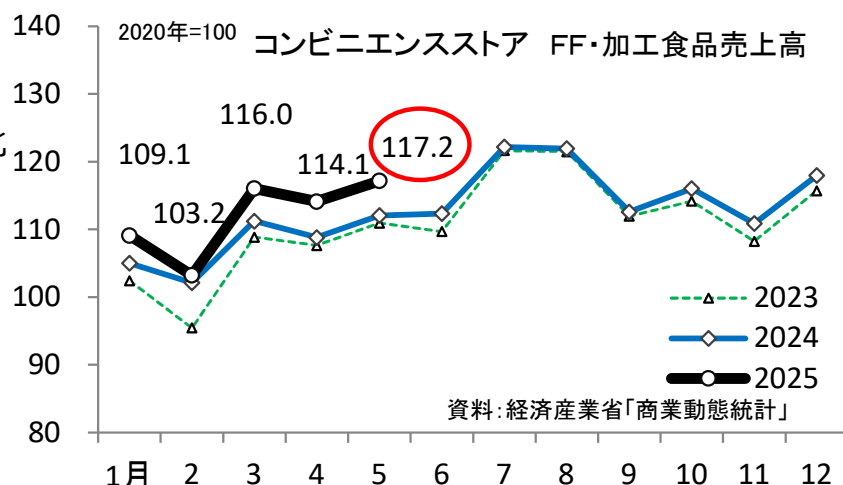
5月 6.0% 増加



2. 食品卸売業・食品小売業

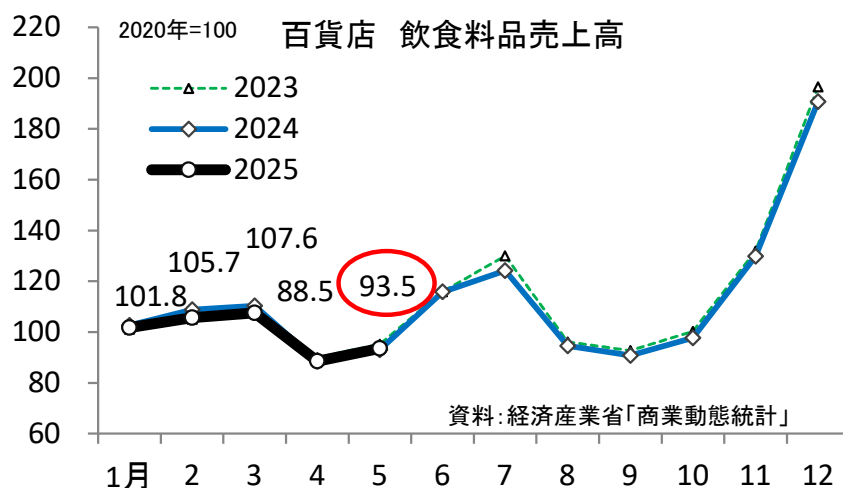
○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比
5月 4.96% 増加



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比
5月 0.5% 増加

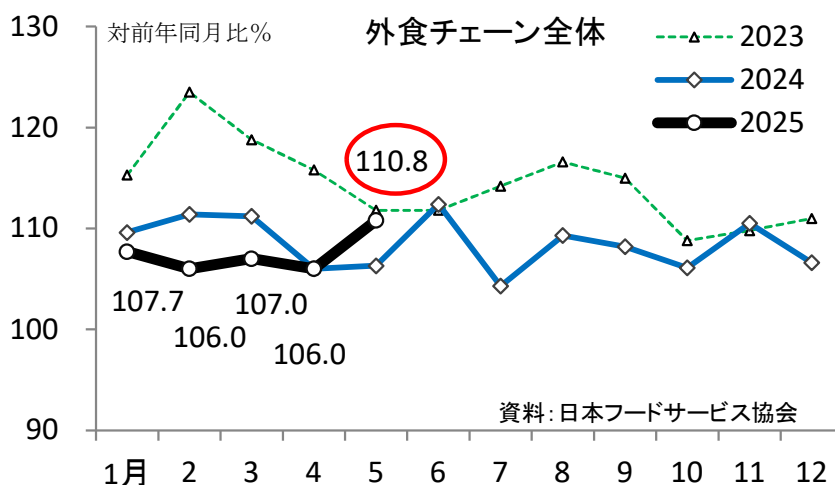


3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食チェーン全体

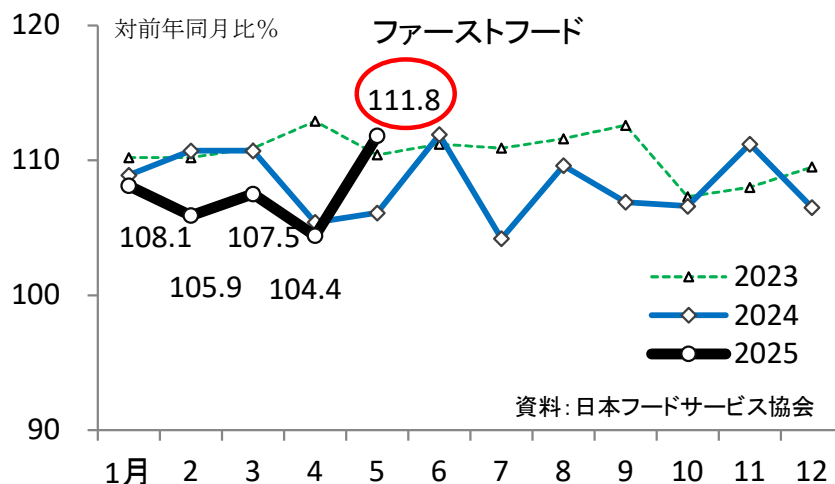
全店売上高 対前年同月比
5月 10.8% 増加



3. 外食産業

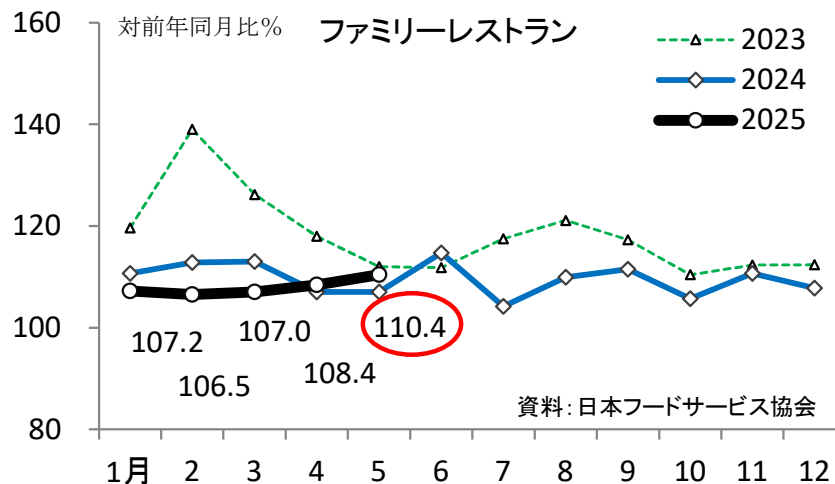
○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比
5月 11.8% 増加



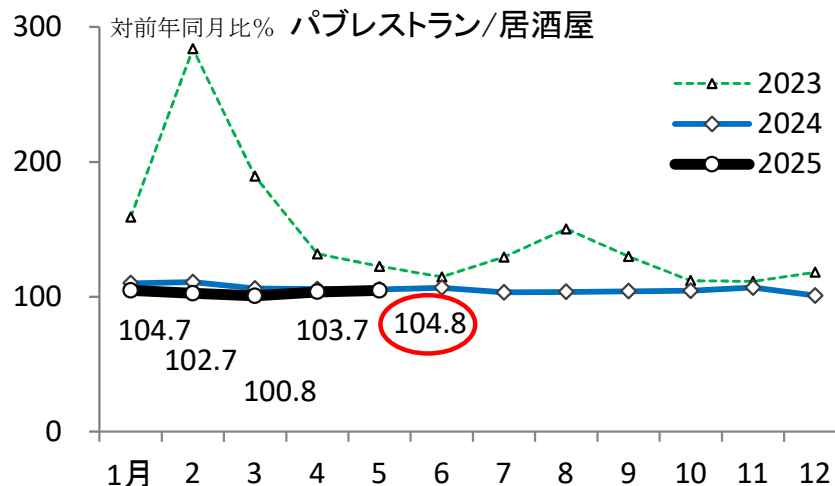
○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比
5月 10.4% 増加



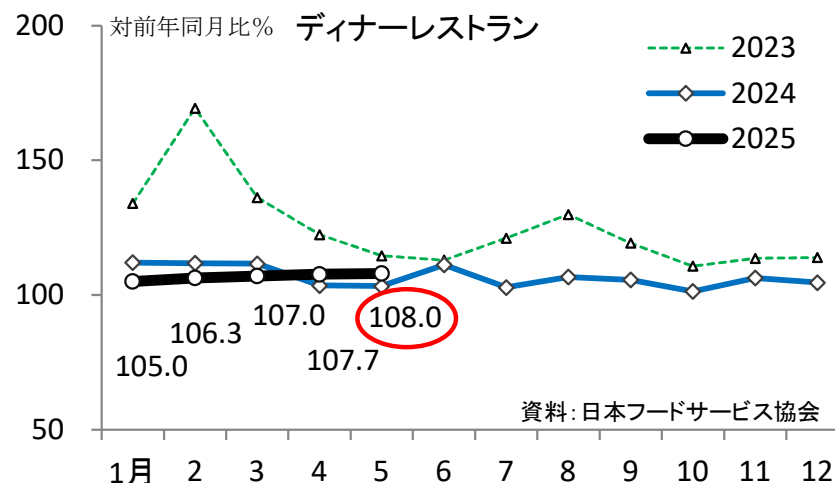
○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比
5月 4.8% 増加



○ ディナーレストラン

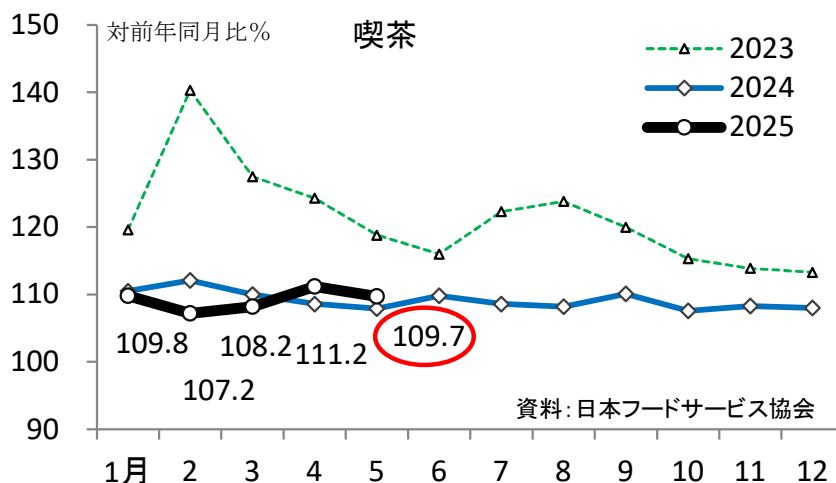
全店売上高 対前年同月比
5月 8.0% 増加



3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比
5月 9.7% 増加



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

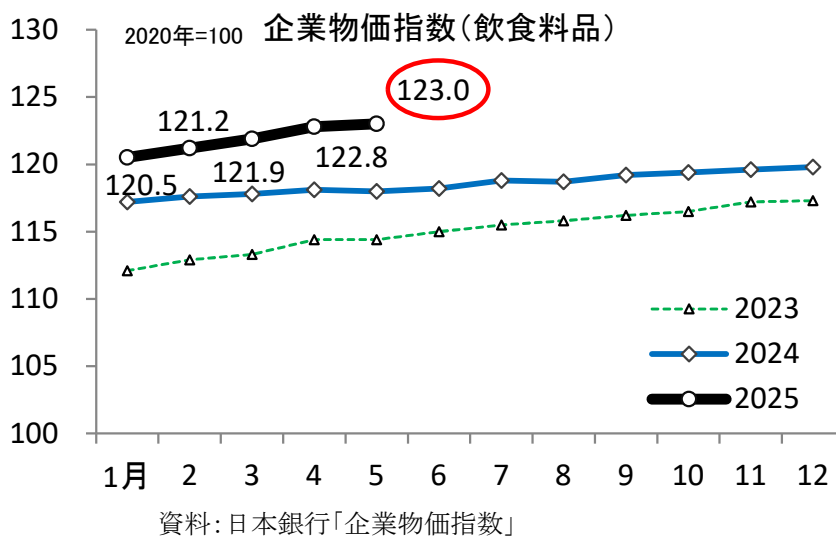
企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2020年）の価格を100として、指数化したもの。

このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比
5月 4.2% 上昇



○ 消費者物価指数

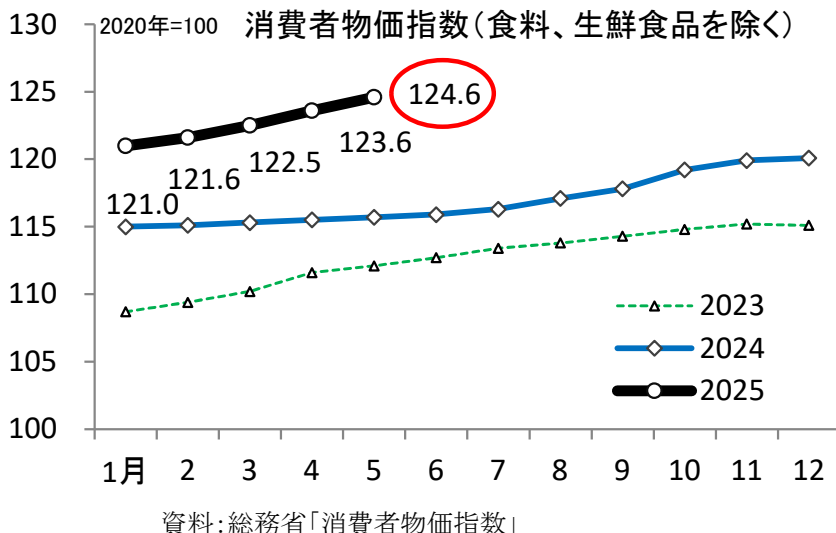
消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

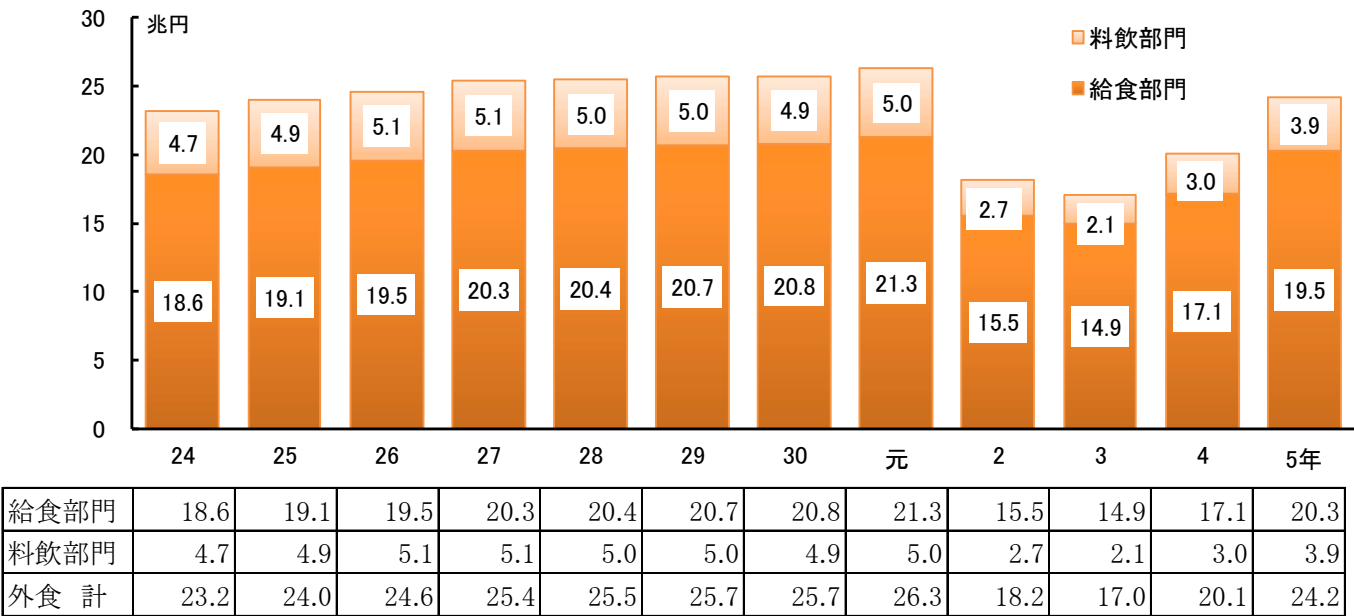
食料 対前年同月比
5月 7.7% 上昇



令和 5 年の外食産業市場規模は、対前年比20.2%と大幅に増加

令和 5 年の外食産業の市場規模は、公益財団法人食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」によれば、24兆2千億円で対前年比20.2%と大幅に増加し、新型コロナウイルス感染症パンデミックの打撃から回復傾向にある。内訳についてみると、給食部門が20兆3千億円で対前年比18.3%と大幅に増加、料飲部門も3兆9千億円で同31.0%と大幅な増加となった。

図1 外食産業の市場規模の推移



資料:公益財団法人食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」

令和 6 年の外食チェーン全体の売上は対前年比でかなりの程度増加

外食チェーン企業の令和 6 年売上高は、一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業動向調査」によれば、全体では対前年比8.4%とかなり大きく増加し、コロナ禍前の令和元年度の水準を上回っている。業態別にみると、ファーストフードが対前年比8.1%とかなりの程度増加、ファミリーレストランは同9.5%とかなりの程度増加、パブレストラン/居酒屋は同5.5%とやや増加、ディナーレストランは同6.6%とかなりの程度増加、喫茶は同9.0%とかなりの程度増加となった。コロナ禍前の令和元年比では、ファーストフードが大幅に増加し、ファミリーレストラン、ディナーレストラン、喫茶は回復しつつある。しかし、パブレストラン/居酒屋令和元年の水準には回復していない。

表1 外食産業の業態別売上動向の推移

対前年増減率 %												
	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6年
計	0.7	▲ 0.2	0.1	2.8	3.1	2.3	1.9	▲ 15.1	▲ 1.4	13.3	14.1	8.4
ファーストフード	▲ 0.5	▲ 2.1	▲ 2.6	6.0	4.6	3.3	3.4	▲ 3.7	4.8	7.9	10.4	8.1
ファミリーレストラン	3.3	3.2	3.8	0.4	1.5	1.3	0.3	▲ 22.4	▲ 8.2	18.1	17.5	9.5
パブレストラン／居酒屋	▲ 3.5	▲ 5.0	▲ 5.7	▲ 7.2	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 49.5	▲ 42.2	80.9	34.9	5.5
ディナーレストラン	2.1	4.0	6.0	4.3	4.5	3.2	1.5	▲ 35.7	▲ 10.1	31.7	22.7	6.6
喫茶	0.1	0.1	2.5	1.2	2.6	0.8	2.6	▲ 31.0	0.1	16.8	20.6	9.0
その他	5.2	6.3	6.1	3.4	4.0	3.3	▲ 3.6	▲ 21.1	▲ 1.2	21.4	17.5	7.2

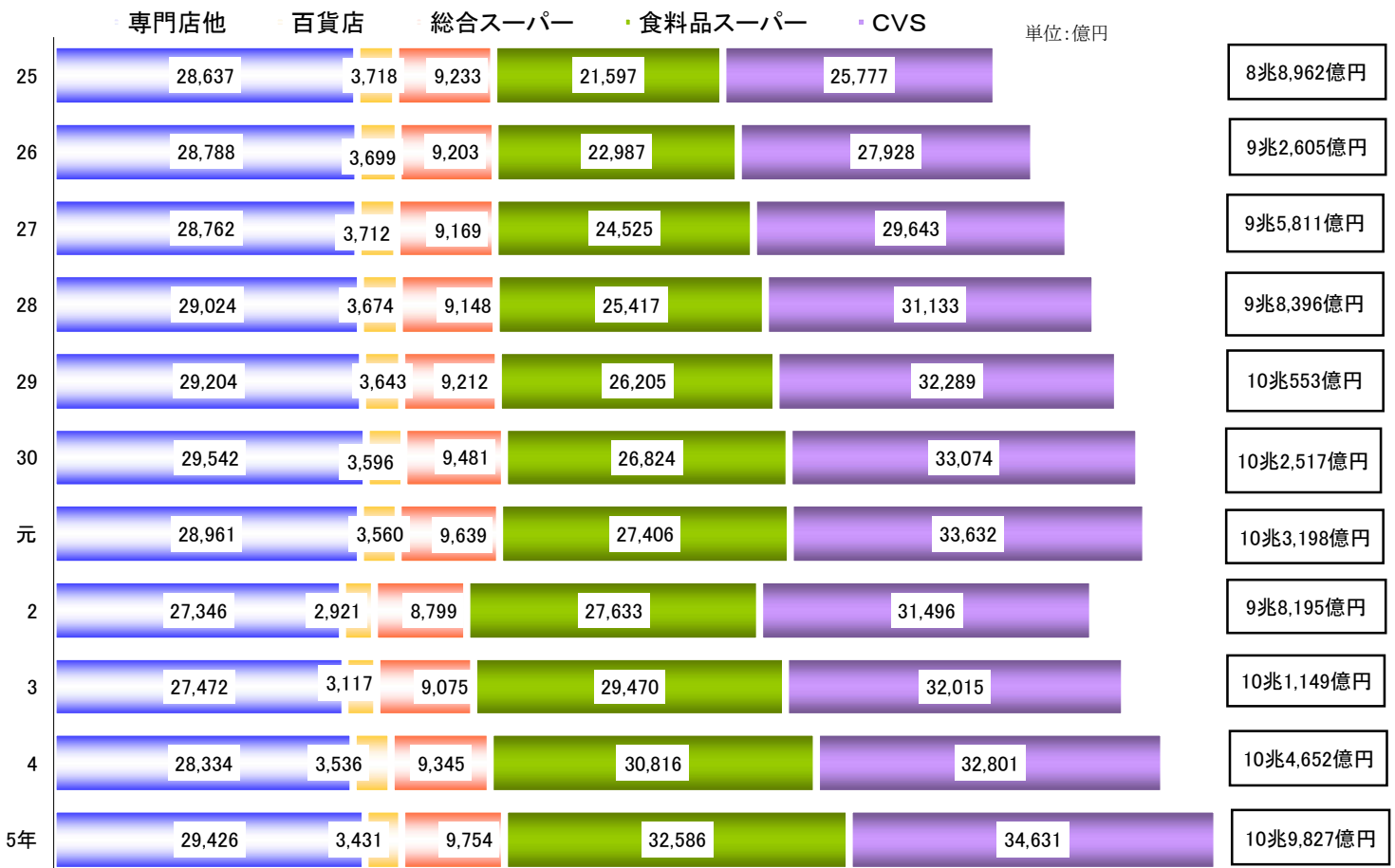
資料:一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

令和5年の惣菜市場規模は対前年比でやや増加

惣菜市場規模は、一般社団法人日本惣菜協会「惣菜白書」によれば、令和5年販売額は11兆円で対前年比4.9%とやや増加となった。惣菜市場は令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響から、大きく落ち込んだが、令和5年はコロナ禍前の令和元年の水準を大きく上回っている。

業態別にみると、専門店他は対前年比3.9%とやや増加、百貨店が対前年比▲3.0%とやや減少となった。また、総合スーパーは同4.4%とやや増加、食料品スーパーは同5.7%とやや増加した。CVSも同5.6%とやや増加となった。

図2 惣菜市場規模の推移（令和4年）

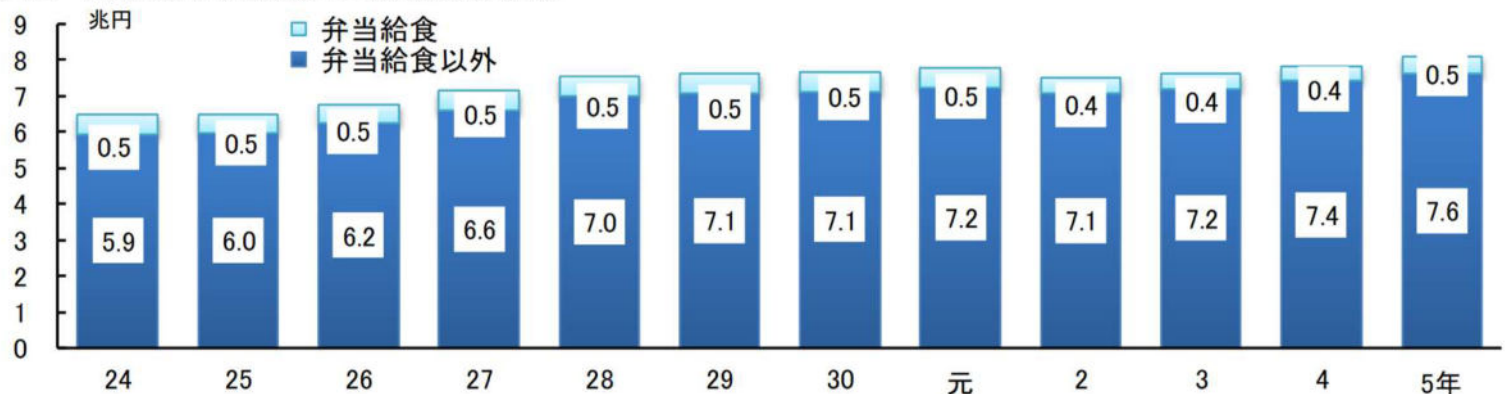


資料：一般社団法人日本惣菜協会「惣菜白書」

令和5年の料理品（惣菜・弁当）小売業販売額はやや増加

惣菜・弁当の料理品小売業における令和5年販売額は、食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」によれば、8兆1千億円に対前年比3.4%とやや増加となった。うち、弁当給食以外が7兆6千億円で対前年比3.1%とやや増加、弁当給食も5千億円と同9.5%とかなりの程度増加となった。

図3 料理品小売業の市場規模の推移



資料：公益財団法人食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計」